

# 「ぼくたち、わたしたちの町 “大好き！岩西”」 ～地域から学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ～

## (1) プロジェクトの概説

本校では、これまでも地域の特色ある施設や特色ある取り組みをされている方、さらに地域性の高いさまざまな行事を授業に取り入れることにより、地域に関わり、地域に愛着をもつ子の育成を目ざした教育活動を実践してきた。

地域の人・もの・自然とすすんで関わることで、地域に学び、地域との関わりを深める子どもを目ざして、総合的な学習の時間・生活科・道徳を関連づけた教育活動の展開を工夫してきた。この中で各学年それぞれの取り組みにより、校区のじまんでできる場所の発見とその紹介、校区に在住する広い視野をもった方からの学び、また、校区のために無償でボランティアを続ける方たち方から思いを知ること、さらに、祭礼や町自治会の活動など校区の取り組みを知ることができた。

このことを「持続発展教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これまでの各学年の教育課程を見直し、学年間の連携および継続を意図的・計画的に図ることとした。学年間の生活科・総合的な学習の時間の内容を段階的にステップアップできるように整理し、学年内において道徳との関連を意識した実践を進めていく。このことから、6年間、そして中学校への引き継ぎにより継続的な実践を行うことで、将来にわたって地域のよさを知り、地域に住む自分といった意識を高めていくことができ、岩西が好きな子どもを育ていけると考えている。

## (2) プロジェクトの目的

本校では、ESDへの取り組みの入り口を地域連携の立場からとしたい。なぜならば、本校児童は学校創立以来、隣接する特別支援学校、給食調理場、福祉施設など、地域の多様な施設との交流や地域にある商店などを題材とした学習を続けてきた。さらに、平成21年度から3年間、市の研究委嘱「地域



連携推進」を受け、従来の取り組みを整理し、各学年の生活科・総合的な学習の時間に位置づけたり、道徳等の授業との関連を図ったりするなどの取り組みを行ってきた。この中で、各学年の発達段階に即した単元を構成し、題材としても自治会の主催する祭礼など、地域の取り組みを取り入れた。このことから、近年、「地域に密接した学校」という意識がより強くなってきた。この取り組みを持続発展させ、地域に根づいた文化の継続、伝承、地域の環

境保全を図っていくことも目的としたい。

そのために本校では、以下の三つの活動で次のような目標を掲げる。

- ① 地域を題材とした各学年の単元の構想
  - ・ 生活科および総合的な学習の時間における単元構想
  - ・ 地域を取り入れた単元構想に関わる道徳および特別活動の授業構想
  - ・ 地域教材としての人的・物的資料のデータベース化地域に関わる教科・領域の授業について、単元構想を立てるとともに、そこに關わる教材の開発および整理・保存を行うことで、地域資源の継続的な有効利用を目指す。
- ② 地域連携を密にする活動および組織の構築
  - ・ 同じ校区に住む児童生徒・保護者・住人・小中学校職員が協力して美化活動に取り組む「スーパークリーン大作戦」
  - ・ 自治会、学識経験者、地域の有識者、地域ボランティア代表、学校職員による「地域教育推進委員会」の設置地域を巻き込んで実施することで、地域の中の学校といった意識の向上を図る。また、地域ボランティアの学校参加、児童の地域ボランティア活動を通して、それぞれの地域に対する愛情を高める。
- ③ 地域に伝わる文化にふれる活動・地域が主催する行事への参加
  - ・ 地域行事の調査および校内での共通理解
  - ・ 地域行事への積極的な参加に対する啓発地域の祭礼や隣接する特別支援学校や福祉施設の行事などの実施状況を調べ、その存在を校内で交流し、共通理解を図る。そして、その積極的な参加を目指して、窓口紹介や役割分担の可能性について教育活動の中で検討を実施し、地域のさらなる関わりや地域の一員としての意識を高めていく。

### (3) 実践例

#### ■第3学年テーマ

校区のよいところを見つけよう「岩西よいとこ大作戦」

#### ■ねらい

住んでいる地域の人・もの・自然のよさに気づき、地域のために活動をすることができる。

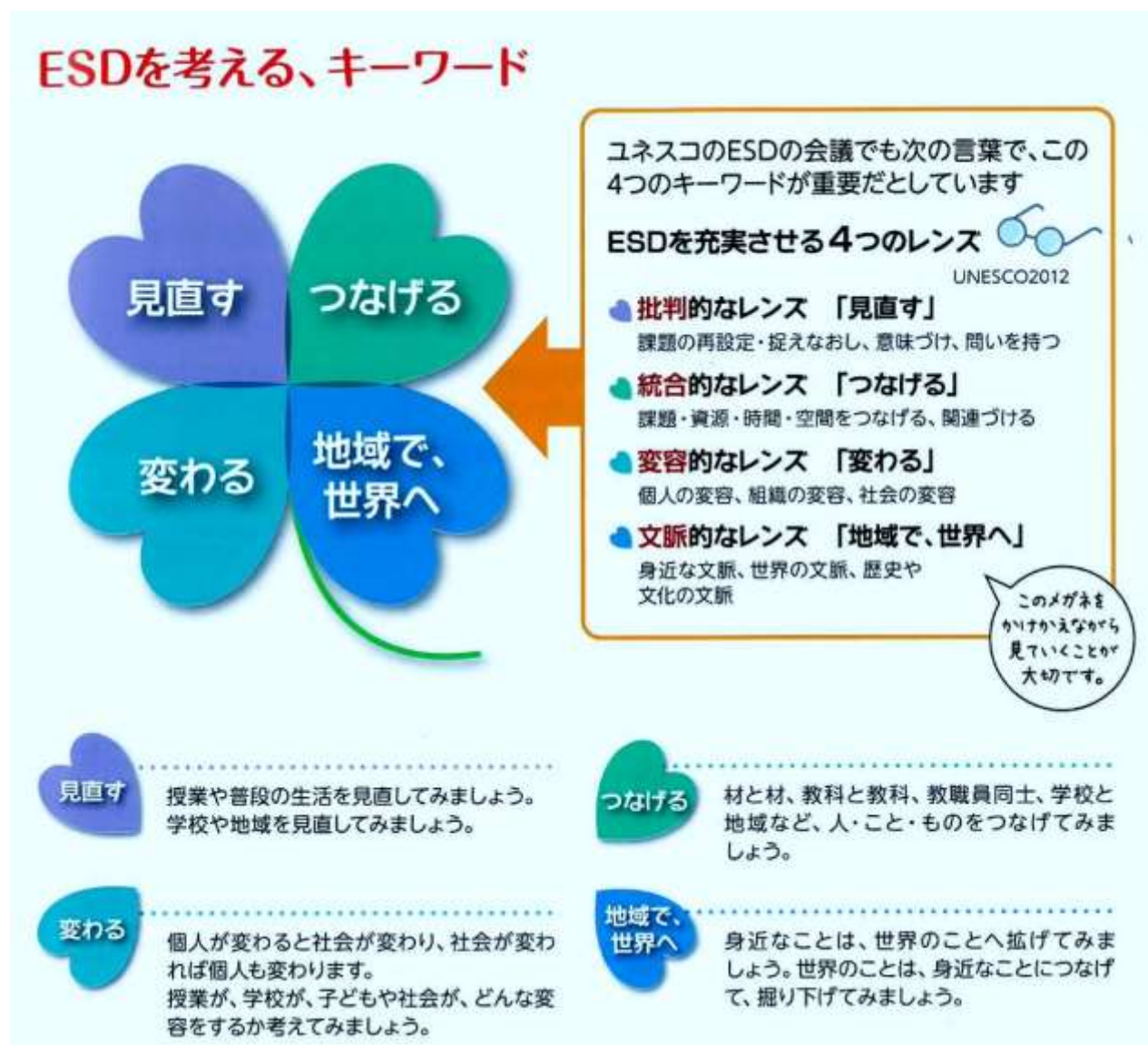
#### ■実践①

社会科の校区探検から始まった3年生の本実践。知らないことがまだまだたくさんあることに気づき、家族や上級生に岩西校区のよい所をインタビューした。教えてもらった人や場所の中から自分の興味のあることを調べに行くためのグループを編成し、探検に出かけた。その際、保護者ボランティアをお願いし、安全面での確保をした。初めて会う方も多かったが、校区の方は快く子どもたちを受け入れてくださり、質問に丁寧に答えてくださった。7月、子どもたちが調査してきたことの報告会を各学級で行った。自分たちが調べてきたことをより多くの人に知らせたいという思いの一方、学級の友達から質問されて答えられず悔しい思いをもった。また、他のグループの調査を聞いて自分たちもこういう質問をしたいという思いももち、新たな探検への意欲が高まった。9月の2度目の探検は、もっと詳しく調べるために、質問項目を前回以上に深く考えて行った。どの方も岩西校区のことを考えてくれていて、岩西校区・岩西っ子が好きだと思ってくれていることが分かった。探検を通して詳しく調べたことをもっと多くの人達に知らせたいと、2年生・今回の学習でお世話になった地域の方・3年の保護者

を招待して、「岩西よいとこ発表会」を行った。分かりやすく伝えるため、発表方法を工夫し、絵や写真や実物を見せたり、クイズを取り入れ説明したことを確認してもらったりした。今後は、もっとよい岩西校区にしていくためにはどうしたらいいかを考え、それを発信していく活動につなげていく予定である。

■成果

本実践を通して、自分たちの暮らす岩西校区の良さを再発見することができた。また、探検を通し、地域の方と顔見知りになることができ、校外でも声をかけ合うことのできる子どもも増えた。校区の良さというのは、場所だけでなく、住む人の温かさがとても大切だという思いを共有することができた。



■第5学年テーマ

「未来へのSTEP UP」～地域で働く・思いを知る～

■ねらい

住んでいる地域の人など身近な人とのかかわりを通して、自分の将来に目を向け、毎日の生活の向上を図る。

■実践②

5年生は地域の方とのかかわりを通して、自分自身を見つめなおしたり、どんな大人に

なりたいかを考えたりしている。そして思い描く自分の将来像に向かって、「今」できることを考え、自分の良さや友達の良さに目を向けながら行動できるようにしている。4月、今の自分のよいところやこれからの自分について考えた。そして、子どもたちはこれから1年後、10年後、将来の自分はどんな大人になりたいのかを考えた。さらに、どうなることが「大人」なのかを考えた。

子どもたちの漠然としている大人についてのイメージをはっきりさせるために、子どもたちがこれまでの学習で何度かお世話になった地域の洋菓子店の方に話を伺った。洋菓子店の仕事の大変さや自分の作った商品が売れることへの喜び、これからの夢を語る姿などに子どもたちは真剣に聞き入った。仕事へのこだわりや新たな夢をもち働く姿に触れた子どもたちは、大人はどのような思いで働いているか関心を高めた。もっといろいろな人に聞きたいと考えた子どもたちは、これまでの学習でお世話になった地域の方や身近な大人へのインタビューを行った。仕事によって、人によって考えていることは違うけれど、大変でもやりがいがあり、がんばって働いていることを知った。大人はどのような思いで働いているか、もっと知りたいと考えた子どもたちは、夏休み期間中に実際に仕事の体験を行うことにした。学校にあるデータベースをもとにして地域の職場へ「仕事体験」を依頼した。以前も引き受けたことがあるからと多くの職場で快く受け入れていただくことができ、これまでの地域とのつながりがいかに大切であるかをあらためて感じた。1日のうち3時間程度であったが、普段とは違う環境での活動に対して、充実感を得ていた。あいさつや掃除などは、学校でも仕事でも大切であるということ子どもたちは学ぶことができた。子どもたちの心には、仕事は思っていた以上に大変だということを知った。さらに、大変であってもいつも笑顔で楽しそうに働く姿に感動し、そして保護者への感謝の気持ちをさらに高めたり、こんな大人になりたいという思いを強くしたりすることができた。

あこがれとなる大人像をもった子どもたちは、そんな大人になるために、今の自分にできることは何かを考えることができた。

#### ■成果

地域の方の協力で「仕事体験」をさせてもらうことで、仕事の大変さを感じ、大人はどのような思いで働いているのかを実感することができた。仕事体験を通し、自分の将来の夢やどんな大人になりたいかを考えるきっかけとなり、普段の自分がどのような行動をしていけばよいか考えることができた。

### (4) 成果と課題

生活科・総合と道徳、教科領域を横断的につなぐESDカレンダーをつくり、どんな力を育みたいのか、どんな題材や教材を使って、体験や言語活動をするのかを明らかにしてきた。発問を引き出し、対話を進め、協働する場面が意図的に作るようにした。

子ども見守り隊、図書館整備、読み聞かせ、国際放課後教室、プール指導、フェスタ&バザーなどの分野で年間延べ1500名を越えるボランティアの方々の協力をいただいていた。校区防災訓練や県立特別支援学校との交流など地域のリソースを活用する取り組みが継続できている。夏季には、地域教育ボランティアコーディネーター(校区自治会副会長)と校長が、「子どもの学びと、家庭・地域の絆を紡ぐ」と題して豊橋市小中学校の担当者に本校の取り組みや体制を発信する機会を得た。今後も地域のESD(持続発展)のために課題解決にむけて、人の行動変容を支えるサイクル(知るー考えるー気づくー行動する)が回っていくようにベストを尽くしていく。

地域や社会に対する関心を高めるために、平和・公正さ・人間の尊厳・多文化共生・有限性・循環などの価値観を共有するよう日々の教育活動を充実させている。地域のステキな人、地域のステキな自然、地域のステキなものを発見し、大切に思い、「わたしもこうなりたい、こうしたい」という心を育て、未来への責任感を育てていく。

**参考資料①** 各学年の育みたい力と題材と教材のつながり表

学年	育みたい力➡	題 材 ←	単元/教材
1年生	人との関わりを大切に、相手に言葉で伝える力	学校と学校を取り巻く地域、みんな ●地域とのかかわり	はきはきあいさつ 学校に来る道で出会った人、モノなど みんなに守られている みんなの公園 あきとなかよし…みんなで探す？ 七夕飾りを作ろう（地域のお年寄りと） 昔遊びに挑戦（お年寄りと） 春を探そう…みんなで探す？ おじいちゃん、おばあちゃんありがとう
2年生	問題や「ひみつ」を見つけ、聞く力、話す力、まとめる力を育む。	校区探検 ●地域理解 ●地域への愛着 ●地域とのかかわり	春みつけ 夏みつけ 秋みつけ 冬みつけ たんぼぼ、迷い犬、昔話、名人紹介、おもちゃ教室、野菜名人（夏野菜、冬野菜）大根パーティー 西口団地のお店 特別行深
3年生	地域の良さを発見！受け継ぐ心、伝え合う力の育成	よいところ大作戦 ●地域への愛着 ●地域とのかかわり	
4年生	みんな同じ人間！よいところを見つけ合い、育ち合う心を育む。	みんなは一人のために、一人はみんなのために ●多様性 ●人権尊重 ●他者理解	音楽の時間との関連性を持ち、他の教科とのつながりが見えにくく。この題材の教材と教科を関連づけていく。
5年生	立場の異なる人との交流などを通してよりよい生き方を考える力の育成	自己理解 大人になる ●自己肯定 ●未来思考力	各教科と総合とのつながりが明確に説明したい。
6年生	Think	踏み出そう世界へ	

	globally Act locally 多文化共生への心構えを育む。	の第一歩 国際理解 国際協力 ●多文化の理解 ●環境の教育	
--	---	---	--

#### 参考資料② ユネスコスクールとして大切なこと

- ・国内外のユネスコスクール相互間のネットワークを介して、互いに交流相手の良さを認め合い、学び合うこと。
- ・地域の社会教育機関、NPO等との連携などを通じて、開かれたネットワークを築くよう努めること。
- ・校内外における各種研修の充実・活用を図るなど、ユネスコスクールの活動を通じて広く学校外にも働きかけ、我々人類社会が持続的に発展するよう心がけること。
- ・学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。
- ・ユネスコスクールの活動を自らの学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努力すること。

#### ユネスコスクールが目指す 21 世紀の学習の 4 本の柱

知ることを学ぶ：複雑な世界の理解に備え、将来の学習のための基礎を作る

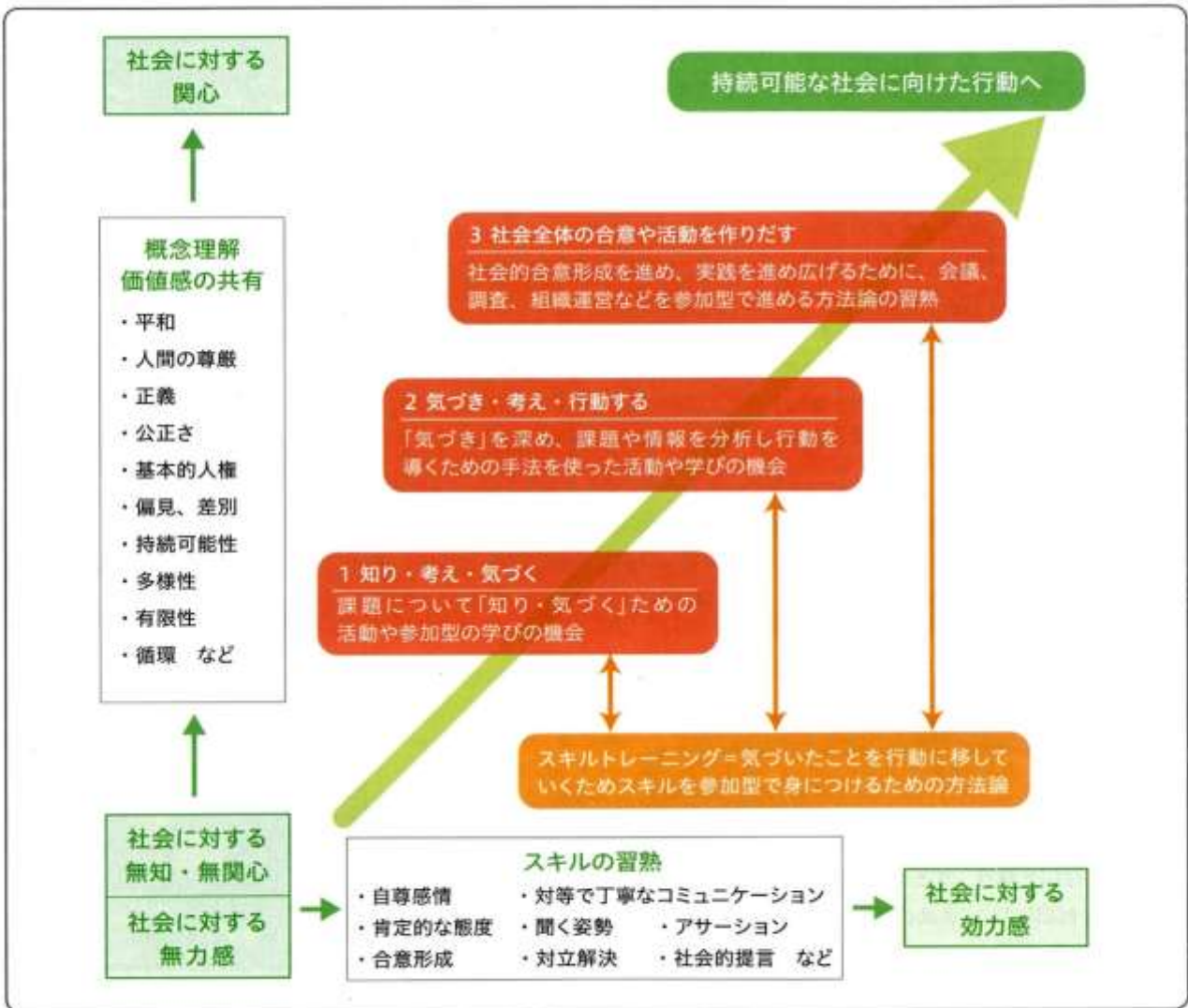
試すことを学ぶ：グローバル化する経済や社会において機能するためのスキルを身につける

人間として生きることを学ぶ：個人がそれぞれの知的・社会的な可能性を活かせる、バランスの取れた情緒と身体を持つ人間を育成する

共に生きることを学ぶ：個人や社会が平和的に共存できる社会のあらゆるレベルでの人権・民主主義・異文化理解と尊重・平和と人間関係に触れる。

参考資料③

● 持続可能な社会に向けた行動と「社会に対する関心・効力感・スキル」の関係



## 世界の新しい目標 「持続可能な開発目標 (SDGs)」

1 貧困をなくそう	2 健康をこころよく	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	貧困をなくす 飢餓をなくす 健康であること 質の高い教育 ジェンダーの平等 清潔な水と衛生 再生可能エネルギー 適切な労働と経済成長 新しい技術とインフラ 不平等をへらす 持続可能街と地域社会 責任ある消費 気候変動 海をまもる 陸のいのちをまもる 平和で公正な社会 目標のための協力
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任とつかう責任	
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2016年9月27日 国連サミット「持続可能な開発目標」	

参考資料④

- 将来のニーズを損なうことなく、現在のニーズを満たすような社会づくり



出典：こども環境白書2015（環境省）

- 「環境の保全」、「経済の発展」、「社会の発展」のバランスの取れた社会づくり

